

2019年12月期 2Q

決算説明資料

2019年8月9日 株式会社フルキャストホールディングス (4848)

- I FY2019 2Q連結業績（2019年1月～6月）
- II FY2019 2Qセグメント業績 短期業務支援事業（2019年1月～6月）
- III FY2019 2Qセグメント業績 営業支援事業（2019年1月～6月）
- IV FY2019 2Qセグメント業績 警備・その他事業（2019年1月～6月）
- V FY2019 施策の進捗及び継続的な取組み
- VI FY2019 2Q業績予想進捗
- VII FY2019 中間配当について

I FY2019 2Q連結業績 (2019年1月～6月)

FY2019 2 Q業績予想対比

- 逼迫する短期人材需要の基調が継続し、主力事業である短期業務支援事業が好調に推移したことで、連結業績は、第2四半期連結累計期間業績予想における各予想値を超過した。

(百万円)

	FY2019 2 Q	FY2019 2 Q累計予想	増減額	達成率
売上高	21,203	19,800	1,403	107.1%
売上総利益	9,107	8,853	253	102.9%
営業利益	3,453	3,150	303	109.6%
経常利益	3,498	3,194	304	109.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,323	2,114	209	109.9%

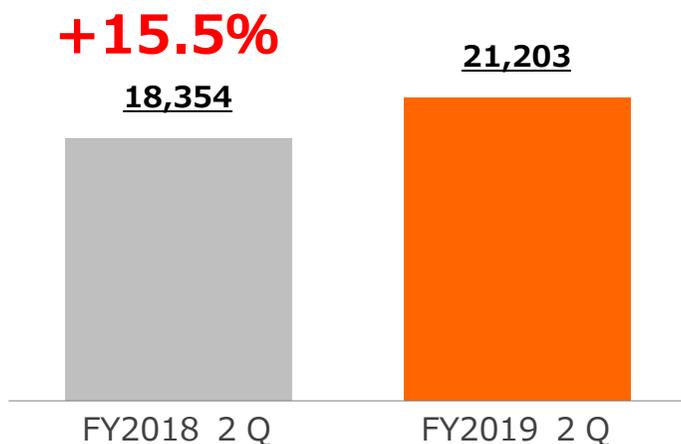
【売上高増減要因】

- 上期を通じて、逼迫する短期人材需要の基調が継続し、主力サービスである「紹介」 + 「BPO」がけん引したことに加えて、顧客企業の長期人材ニーズにも応えた結果、「派遣」が伸張したことにより、売上高は、前年同期比**15.5%の増収**となった。

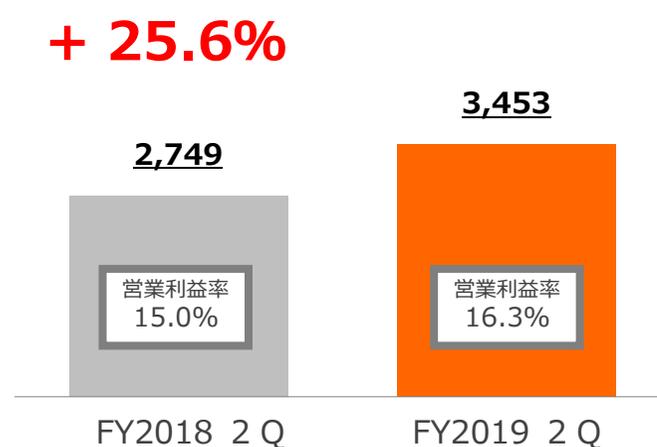
【営業利益増減要因】

- 主力サービス及び「派遣」サービスの増収を主因とし、営業利益は、前年同期比**25.6%の増益**となり、営業利益率は**1.3PT改善**した。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



連結 FY2019 2Q 前年同期比較

➤ 営業利益が増益したことを主因として、経常利益は前年同期比**25.6%の増益**、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比**24.3%の増益**となった。

(百万円)

	FY2018 2Q	FY2019 2Q	増減額	増減率
売上高	18,354	21,203	2,849	15.5%
売上総利益	7,936	9,107	1,171	14.7%
販管費	5,187	5,654	467	9.0%
営業利益	2,749	3,453	704	25.6%
営業利益率	15.0%	16.3%	—	1.3PT
経常利益	2,784	3,498	713	25.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,869	2,323	453	24.3%

	FY2018 2Q	FY2019 2Q	増減率
人件費 1円あたり 売上総利益 (円)	2.6	2.7	2.9%

➤ 当社グループの生産性を示す指標である「人件費 1円あたり売上総利益」は、前年同期比で2.9%増の2.7円となった。

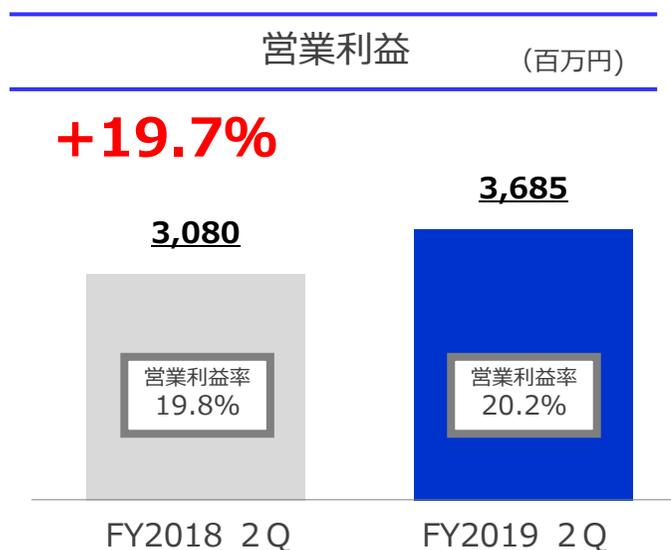
Ⅱ FY2019 2Qセグメント業績 短期業務支援事業 (2019年1月～6月)

【売上高増減要因】

- 上期を通じて、逼迫する短期人材需要の基調が継続し、主力サービスである「紹介」 + 「BPO」がけん引したことに加えて、顧客企業の長期人材ニーズにも応えた結果、「派遣」が伸張したことにより、売上高は、前年同期比**17.5%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 主力サービス及び「派遣」サービスの増収を主因とし、営業利益は、前年同期比**19.7%の増益**となり、営業利益率は**0.4PT改善**した。



短期 FY2019 2Q前年同期比較（サービス区分別）

(百万円)

	FY2018 2Q	FY2019 2Q	増減額	増減率
売上高	15,523	18,243	2,720	17.5%
紹介	2,645	2,961	317	12.0%
BPO	2,885	3,243	358	12.4%
派遣	8,452	9,997	1,545	18.3%
請負	1,543	2,043	500	32.4%
売上総利益	6,968	8,127	1,159	16.6%
紹介	2,559	2,863	304	11.9%
BPO	2,766	3,090	324	11.7%
派遣	1,345	1,660	315	23.4%
請負	298	514	216	72.2%

- 主力サービス「紹介」及び「BPO」のうち、中核的なメニューである「給与管理代行」サービスをセットで提供し、顧客企業の短期人材ニーズに応えたことを主因とし、両サービスが伸張した。
- 主力サービスを売り込む中で、顧客企業の採用需要の内、長期人材ニーズにも応えた結果、「派遣」が伸張した。
- 新たに連結子会社としたミニメイド・サービス株式会社の業績を取り込んだことを主因として、「請負」が伸張した。

	FY18 2Q	FY19 2Q	増減	増減率
取引顧客数 (社)	17,616	21,914	4,298	24.4%
新規取引顧客数 (社)	3,487	4,031	544	15.6%

- ✓ 2018年12月期第2四半期決算説明資料で開示した「新規取引顧客数(社)」の集計方法に誤りがあったため、前年同期実績を3,770社から3,487社に修正しております。
- ✓ 2018年12月期第4四半期連結会計期間より、2018年8月31日付で連結子会社とした、ミニメイド・サービス株式会社の実績を含めております。同社の業績は、「請負」サービスに計上しております。

Ⅲ FY2019 2Qセグメント業績 営業支援事業 (2019年1月～6月)

【売上高増減要因】

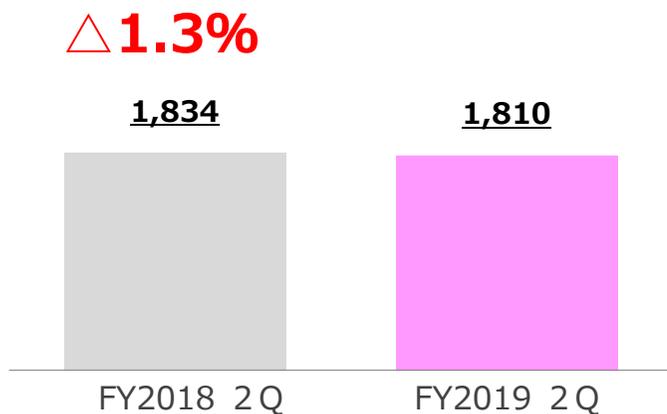
- 主として、前期に不採算拠点の整理を行ったこと等の影響により、前年同期比**1.3%の減収**となった。

【営業利益増減要因】

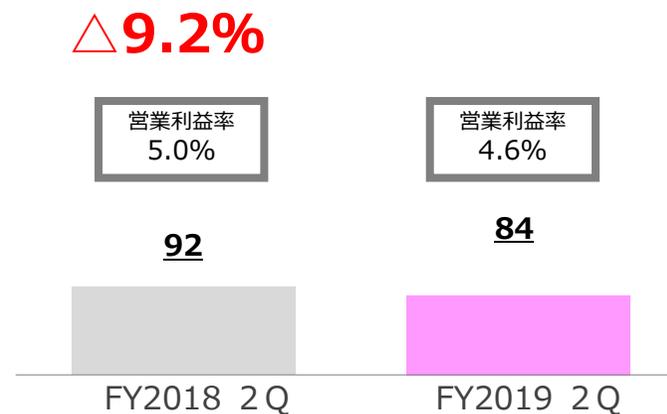
- 減収に伴い、前年同期比**9百万円の減益**となった。

✓ 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテインメント事業」を行っております。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



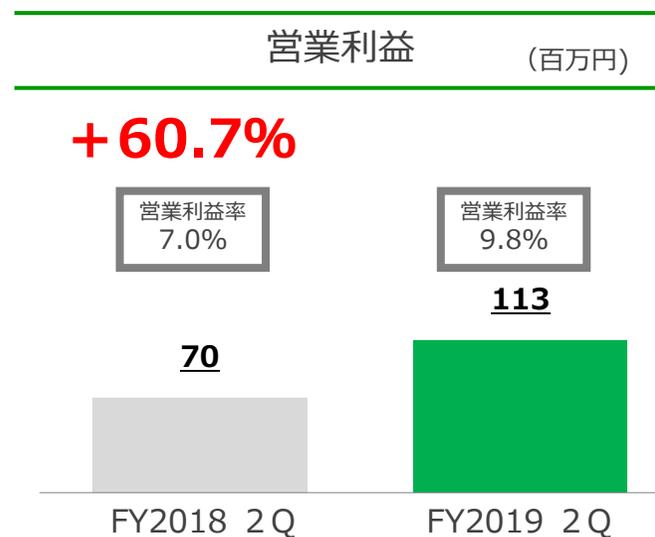
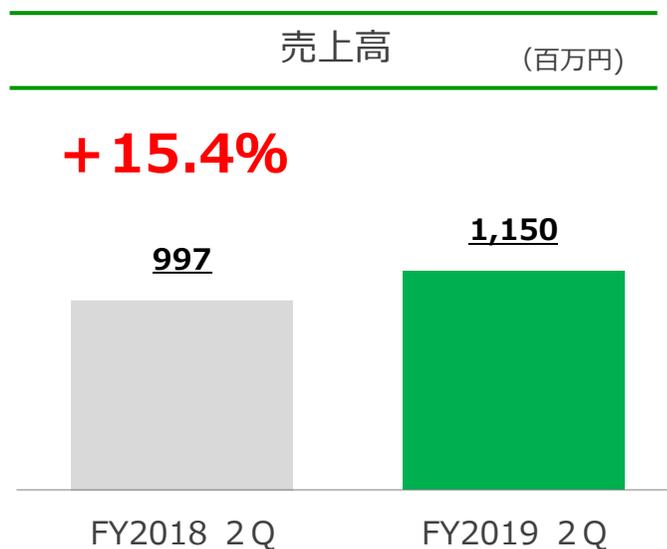
IV FY2019 2Qセグメント業績 警備・その他事業 (2019年1月～6月)

【売上高増減要因】

- 警備事業において、常駐警備案件の獲得数が増加したことで、前年同期比**15.4%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 増収したことを主因とし、販管費率を抑制できたことで、営業利益は前年同期比**60.7%の増益**となり、営業利益率は**2.8PT改善**した。



V FY2019

施策の進捗及び継続的な取組み

2019年12月期 目標

- **短期業務支援事業の拡充及び周辺領域への種まきと刈り取りを推進する**

2019年12月期 施策

施策① 短期業務支援事業の拡充

施策② 求人効率及びスタッフ稼働率の改善

施策③ グループシナジーの更なる深化

施策① 短期業務支援事業の拡充

- ◆ 営業拠点に係る新規出店の継続（年間10拠点程度）
- ◆ ラグビーワールドカップ及び東京オリンピックにおける短期需要の刈り取り
- ◆ BPOサービスメニューの拡充及び拡販

施策② 求人効率及びスタッフ稼働率の改善

- ◆ 求人費投資配分の見直しを継続して実施
- ◆ グループ間のスタッフ及び案件共有拡充
- ◆ マッチングシステムのリプレイス

施策③ グループシナジーの更なる深化

- ◆ 株式会社BODとの共同営業推進
- ◆ ミニメイド・サービス株式会社に対する採用及び人的支援強化
- ◆ Advancer Global Limitedとの合併会社設立、推進

【進捗状況】

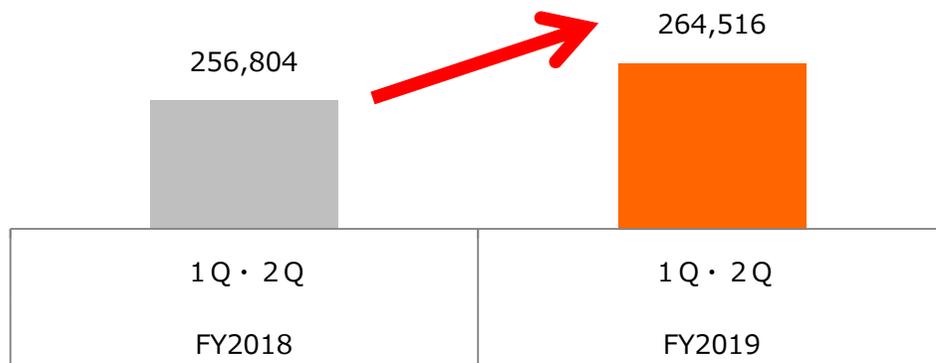
- ◆ 営業拠点7拠点の新規出店を実施した。下期は6拠点の出店を予定している。

	上期出店 (2/1出店)	下期出店 (9/1出店予定)
(株)フルキャスト	山形県 酒田、茨城県 日立、茨城県 筑西、兵庫県 三田、高知県 高知	北海道 北見、北海道 苫小牧、秋田県 大館、静岡県 掛川、大阪府 八尾
(株)トップスポット	長野県 長野	滋賀県 滋賀
(株)ワークアンドスマイル	岡山県 岡山	-

- ◆ 「WEB登録サービス」の浸透に伴い、登録センター6拠点を閉鎖し、合理化を実施した。
 - ◆ ラグビーワールドカップ関連案件の受注を進めている。
 - ◆ リプレイスしたマッチングシステムの全店導入を、7月末に完了した。
 - ◆ ミニメイド・サービス株式会社が、関西圏の直営化を目的として、加盟店であった関西ミニメイドサービス株式会社から事業の全部を譲り受けた（P19参照）。
 - ◆ 株式会社フルキャストグローバルが、在留資格「特定技能」の外国人雇用における「登録支援機関（※）」として出入国在留管理庁に登録された。今後、特定技能外国人受入の支援計画策定、在留資格申請、各種報告書などの申請、届出業務や、特定技能外国人の送迎、生活支援、相談受付などの受入支援業務を行う。
 - ◆ 2019年8月9日付で、Advancer Global Limitedと合併契約を締結した（P18参照）。
- ➡ 各施策は一過性のものではなく、中長期的な課題であるという認識の元、今期及び来期以降における効果発揮に向けて、継続して準備、検討を進め、実施する。

※ 登録支援機関とは、特定技能外国人を雇用する会社である特定技能所属機関（受け入れ機関）より委託を受け、特定技能外国人の職場上、日常生活上、社会上の支援計画の作成及び実施を行う機関であります。

●取組① 採用力の強化



- ◆ 採用人数は、前年同期比で**3.0%増**となる**264,516人**を採用した。
- ◆ 求人費率（対売上総利益）を引き続き改善できており、効率的な採用者の獲得を継続している。

(百万円)

	FY18 2Q	FY19 2Q	増減
求人費	226	252	26
求人費率 (対売上総利益)	2.85%	2.76%	▲0.09PT

●取組② 稼働者数の増加

	FY2018 2Q	FY2019 2Q	増加数	増加率
稼働者数	159,384	176,861	17,477	11.0%

- ◆ 稼働者数は、前年同期比**11.0%増**の**176,861人**と、業績予想を超過する実績を計上するに足る人数を確保した。

●取組③ 新規事業／M&A

[Advancer Global Limitedとの合併会社設立]

1. 合併会社設立の背景及び目的

- 2019年8月9日付で、Advancer Global Limited（本社；シンガポール、代表；Executive Chairman Mr.Desmond Chin Mui Hiong、以下、「Advancer社」と言う。）との間で、合併会社の設立を前提とした合併契約を締結した。
- 日本において、国外の外国人労働者を受け入れ、活用するビジネスを共同して行うことを目的とした合併会社を、2019年8月下旬に設立予定である。

※ Advancer社は、シンガポール証券取引所に上場し、シンガポールにおいて、東南アジアを中心とした外国人労働者を活用し、家事代行サービスや、当社グループの事業内容と近いブルーカラー分野への人材サービスを提供している企業であります。

2. 合併会社の概要（予定）

名称	株式会社Fullcast International
所在地	東京都品川区西五反田8-9-5
代表者の氏名・役職	代表取締役 坂巻一樹
事業内容	日本におけるグローバル人材の人材紹介サービス
出資金	計80百万円（資本金50百万円、資本準備金30百万円）
出資比率	当社；51%、Advancer Nation Pte. Ltd.；49%
役員構成	当社；取締役3名、監査役1名、Advancer社；取締役2名
設立年月日	2019年8月下旬（予定）

※ 共同出資者であるAdvancer Nation Pte. Ltd.は、Advancer Global Manpower Pte. Ltd.の100%子会社であります。なお、Advancer Global Manpower Pte. Ltd. は、Advancer社の100%子会社であります。

●取組③ 新規事業／M&A

【関西ミニメイドサービス株式会社の事業の全部の譲受け】（8月）

- ミニメイド・サービス株式会社が、同社の加盟店であった関西ミニメイドサービス株式会社(以下、「関西ミニメイド」と言う。)から事業の全部を譲り受けた。
- 事業承継を契機として、関西ミニメイドの家事代行業を譲り受け、直営店として運営することで、関西エリアにおける営業基盤の更なる拡充と収益改善を図る。

【日本電気サービス株式会社】（3月）

- 同社の株式（20%）を取得し、持分法適用関連会社化した。
- 同社が提供する「電気料金削減サービス」を、当社グループ顧客企業に提供することを通して、グループ全体の企業価値の向上を図る。

VI FY2019 2Q業績予想進捗

FY2019 2Q業績予想進捗

- 主力事業である短期業務支援事業が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間業績は、通期業績予想に対し順調に進捗している。
- 当第2四半期連結累計期間業績は、通期業績予想の修正を要しない水準で進捗していることから、通期業績予想の修正は行わない。

(百万円)

		FY2019 2Q	FY2019 通期予想	進捗率
売上高		21,203	42,300	50.1%
売上総利益		9,107	18,811	48.4%
営業利益		3,453	6,830	50.6%
経常利益		3,498	6,930	50.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		2,323	4,593	50.6%
短期業務支援事業	売上高	18,243	36,766	49.6%
	紹介	2,961	6,417	46.1%
	BPO	3,243	6,578	49.3%
	派遣	9,997	19,726	50.7%
	請負	2,043	4,045	50.5%
営業支援事業	売上高	1,810	3,317	54.6%
警備・その他事業	売上高	1,150	2,217	51.9%

Ⅶ FY2019 中間配当について

- ◆ 2019年8月9日開催の取締役会において、配当予想通りの1株あたり19円の剰余金の配当を決議しました。

	決定額	直近の配当予想 (2019年2月8日公表)	前期実績 (2018年12月期中間配当)
基準日	2019年6月30日	同左	2018年6月30日
分配可能額	3,271百万円	-	-
1株あたり配当金	19円	19円	14円
配当金の総額	706百万円	-	527百万円
効力発生日	2019年9月2日	-	2018年9月3日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

- ◆ 直近の配当予想（2019年2月8日公表）の通り、中間配当（1株につき19円）を実施いたします。
- ◆ 引き続き、ROE20%以上を実現するため、総還元性向50%の目標を堅持し、株主に対する利益還元を行う方針ではありますが、機動的な利益還元を行うために、現時点では配当及び自己株式の取得の両方を選択肢とし、直近の配当予想通り1株あたり19円の期末配当予想としております。

■ 資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元
の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上
限0.5倍としております。

免責事項

- Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

注記事項

<当資料について>

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。
- 「人件費1円あたり売上総利益」は、小数点以下第2位を四捨五入し表記しております。
- 採用人数は、株式会社フルキャスト、株式会社トップスポット、株式会社ワークアンドスマイル、株式会社フルキャストシニアワークス、株式会社フルキャストポーター及び株式会社フルキャストグローバル並びに株式会社フルキャストアドバンスの短期業務支援事業における採用人数を合算しております。
- 稼働者数は、株式会社フルキャスト、株式会社トップスポット、株式会社ワークアンドスマイル、株式会社フルキャストシニアワークス、株式会社フルキャストポーター及び株式会社フルキャストグローバル並びに株式会社フルキャストアドバンスの短期業務支援事業における、BPOを除くサービスに就業したユニーク人数です。

<短期業務支援事業について>

- 2018年12月期第4四半期連結会計期間より、2018年8月31日付で連結子会社とした、ミニメイド・サービス株式会社の実績を含めております。同社の業績は、「請負」サービスに計上しております。
- 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを合算しております。
- 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区分別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

<営業支援事業について>

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテインメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

<2019年12月期業績予想について>

- セグメント別売上高の第2四半期累計期間業績予想は開示しておりません。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

米国預託証券プログラム：



BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株
米国証券コード（CUSIP）：35968P100

Symbol：FULCY
預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

240 Greenwich Street, New York, NY 10286, U.S.A.
TEL：(212) 815-2077
U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)
Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課：03 - 4530 - 4830
URL：<https://www.fullcastholdings.co.jp/ir>
Email：IR@fullcast.co.jp